

近代日本を拓いた蘭学者たち

平成30年

2月23日(金) 午後2時～4時30分(予定) ● 山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町)

入場無料

宇田川玄随

宇田川玄真

ありし日の津山城

津田真道

磯野計

講演 「江戸蘭学界の泰斗、宇田川玄随と玄真」

講演 「近代日本法学の先駆 津田真道」

講演 「明治屋創業者 磯野 計とその時代」

豊田工業高等専門学校元教授 幸田 正 孝

慶應義塾大学准教授 大久保健晴

東洋大学教授 岩下 哲 典

パネルディスカッション 「蘭学者を多く輩出した理由、その特異性」

進行 / 津山洋学資料館元館長 下山 純 正

主催 ● 公益財団法人 山陽放送学術文化財団 共催 ● 岡山日蘭協会

後援 ● 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、津山市、津山市教育委員会、香川県、香川県教育委員会、(公財)岡山県郷土文化財団、山陽新聞社

宇田川玄随：武田科学振興財団杏雨書屋蔵 宇田川玄真：武田科学振興財団杏雨書屋蔵 津田真道：津山洋学資料館蔵 磯野 計：明治屋提供 津山城古写真：津山郷土博物館蔵

日本の近代化を牽引してきた岡山(津山)の蘭学は津山藩医宇田川玄随(1755~1797)に始まる。玄随ははじめ漢方医であったが、25歳の時、西洋医学の正確さを知り蘭学を学ぶ。日本初の西洋内科学書『西説内科撰要』を著し日本に西洋内科学を紹介した。養子の玄真(1769~1834)は日本の解剖学の基礎を築いた『医範提綱』などを著し全国の医師を指導。箕作阮甫・緒方洪庵ら多くの蘭学者を直接育成したことから「蘭学中期の大立者」と称された。また膀胱の「膀胱」やリンパ腺の「腺」という字を作ったことでも知られている。

幼少の頃から学問を好んだ津田真道(1829~1903)は西周らとオランダに留学。帰国後、明治政府の官僚ならびに学者として活躍。衆議院初代副議長などを歴任した。また津山藩士の二男として生まれた磯野計(1858~1897)は英語力を高く評価されてイギリスに留学。帰国後、日本郵船への雑貨納入権を獲得し横浜で明治屋(現:株式会社明治屋)を創業。キンビールの販売などを手がけた。



医範提綱・内象銅版図
(津山洋学資料館蔵)



大日本国会議事堂図(津山洋学資料館寄託・内田家資料)

シリーズ「岡山蘭学の群像」の最終回となる今回は4人の研究者を招き、岡山の蘭学の源流から裾野までの流れ、また津山藩がなぜ日本の近代化をリードする人材を数多く輩出できたのか、その特異性と謎にも迫る。

シリーズ「岡山蘭学の群像」の最終回となる今回は4人の研究者を招き、岡山の蘭学の源流から裾野までの流れ、また津山藩がなぜ日本の近代化をリードする人材を数多く輩出できたのか、その特異性と謎にも迫る。

出演者プロフィール



豊田工業高等専門学校元教授
幸田 正孝
(こうだ まさたか)

兵庫県生まれ。国立豊田工業高等専門学校元教授。津山藩の藩医である宇田川家を、藩政史料と著書稿本などから追跡・研究する宇田川家研究の第一人者。化学史学会、洋学史学会などに所属。共著・論文に『宇田川榕菴植物学資料の研究』、『小野蘭山』、『大槻修二(如電)と新撰洋学年表』などがある。



東洋大学教授
岩下 哲典
(いわした てつり)

長野県生まれ。東洋大学文学部史学科教授。日本近世・近代史専攻。博士(歴史学)。津山洋学資料館展示構想策定委員、国立歴史民俗博物館客員助教授など歴任。著書に『権力者と江戸のくすり』、『江戸情報論』、『江戸の海外情報ネットワーク』、『病とむきあう江戸時代』、『シリーズ藩物語 津山藩』など多数。



慶應義塾大学准教授
大久保 健晴
(おおくぼ たけはる)

東京都生まれ。慶應義塾大学法学部准教授。専門は東洋政治思想史・比較政治思想。特に、近世・近代の日蘭学術交渉史を研究。博士(政治学)。明治大学政治経済学部准教授を経て、現職。日本政治学会、政治思想学会、洋学史学会などに所属。著書に、『近代日本の政治構想とオランダ』などがある。



津山洋学資料館元館長
下山 純正
(しもやま よしまさ)

岡山県生まれ。津山洋学資料館元館長。専門は洋学史、医学史。特に、在村蘭学者の動静を追うことを長年のテーマにしている。洋学史学会、日本医学史学会関西支部などに所属。論文に『蘭学重宝記の不可思議』、『宇田川玄真病状記とその一年』など、共著に『在村蘭学の展開』、『岡山県歴史人物事典』などがある。

第10回シンポジウムに参加ご希望の方には「優待席」をご用意します。平成30年2月2日(金)迄にこの用紙のままFaxでお申し込みください。

お名前(企業名)	
〒 ご住所	
申込人数	※2名までとさせていただきます。
ご連絡先(電話など)	
fax 086-225-5046	
優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。	
◆e-mail nichiran@rsk.co.jp	
◆ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団	
◆申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可)	
希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。	
「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。	

次回 新シリーズ

慈愛と福祉の先駆者たち

三千年の孤児、父となった男

第1回 **石井十次**

平成30年6月7日(木) 山陽新聞社 さん太ホール

シリーズ「岡山蘭学の群像」は第10回となった2月23日開催分でいったん終了します。
新シリーズは「慈愛と福祉の先駆者たち」。平成30年6月7日(木)にスタートします。第1回は「三千年の孤児、父となった男 石井十次」と題し、「児童福祉の父」を取り上げます。講師にはその分野のエキスパートを予定しています。新シリーズにもご期待下さい。